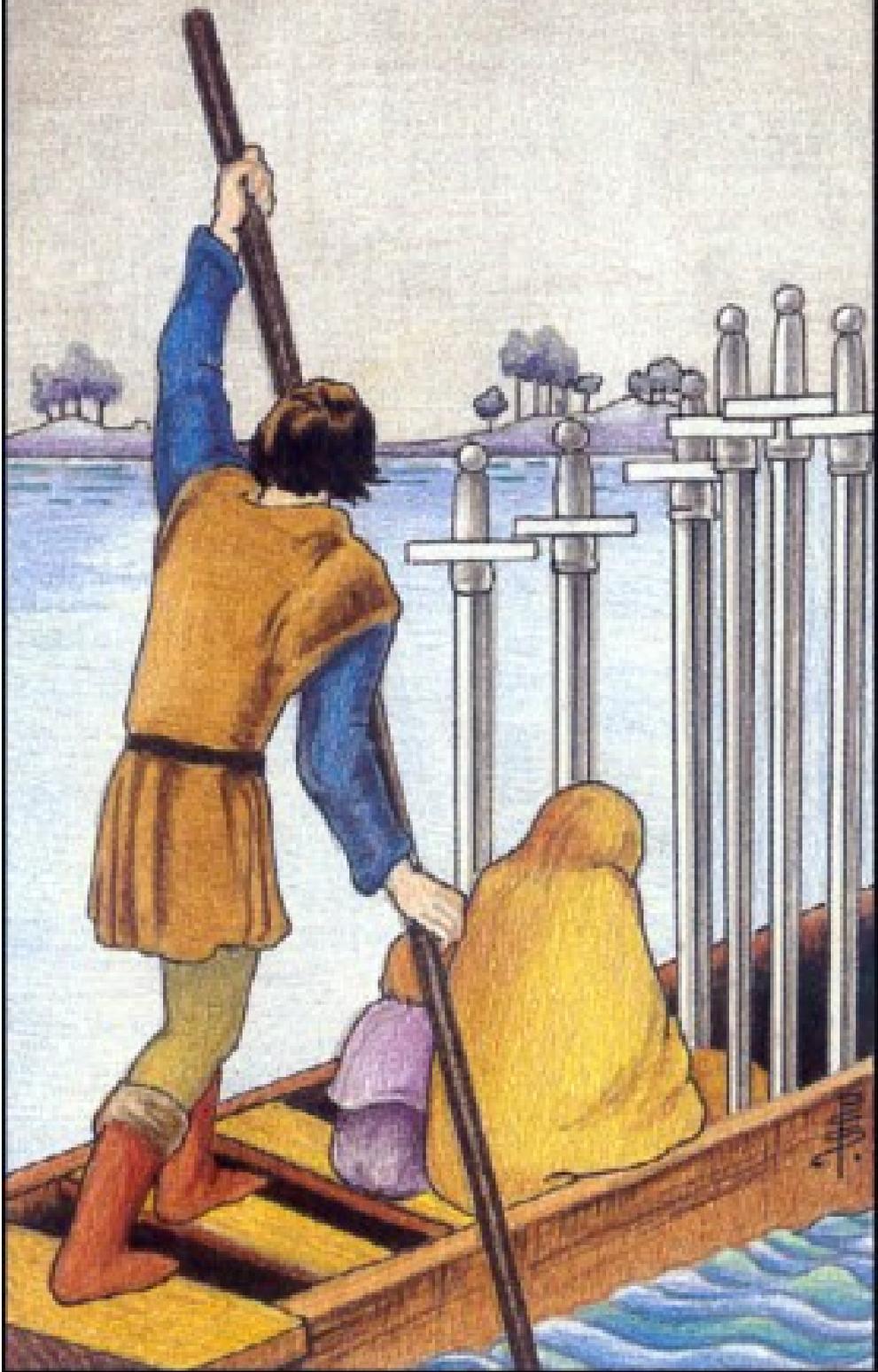


VI



離婚することは悪いことではないと思います。

離婚に罪悪を感じることも自体が既に時代遅れなのかもしれないかもしれませんけどね。だとしたら今さら私に「悪いことではない」なんて偉そうに言う必要もないのかもしれませんが……。

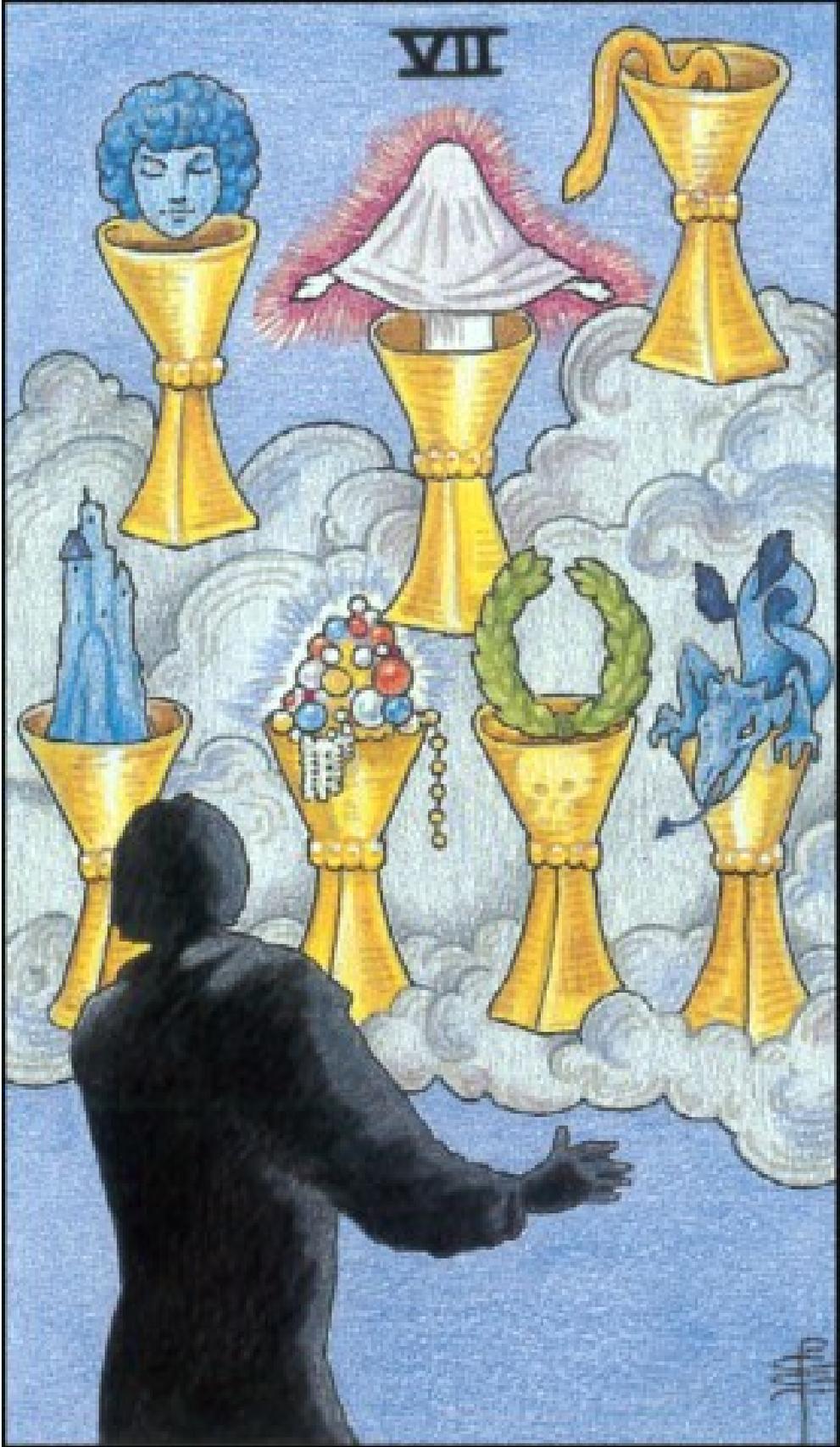
結婚なんて所詮は書類による手続きにすぎません。離婚するのも同様。お互いが同意の上で好きにすればよいのです。

ただし、結婚する時に「一生の愛」とか「永遠の愛」とやらを神の前で誓ったりしているのなら、離婚することは悪いことになります。なぜなら、嘘をつくことになるからです。しかも神に対して嘘をつくことになるわけですから大罪ですね。何のお咎めも無しというわけにはいかないでしょう。必ず何らかの罰を受けることになります。人は何も言わなかったとしても、神様はお怒

りでしょうから天罰は下ります。

だいたい今の人たちは「結婚式を挙げたくて結婚する」というような人も多いでしょう。純白のウェディングドレス、かわいい教会、指輪の交換、誓いのキッス……憧れ要素満載で、人生の大イベントです。

VII



世の中には結婚すらせずに（同性婚とか法律上は正式に結婚できない事情などがあって）結婚式だけを挙げてしまうようなカップルもいるほどこです。そういうセレモニー（お祭り）が好きなんですよ。しょうね。

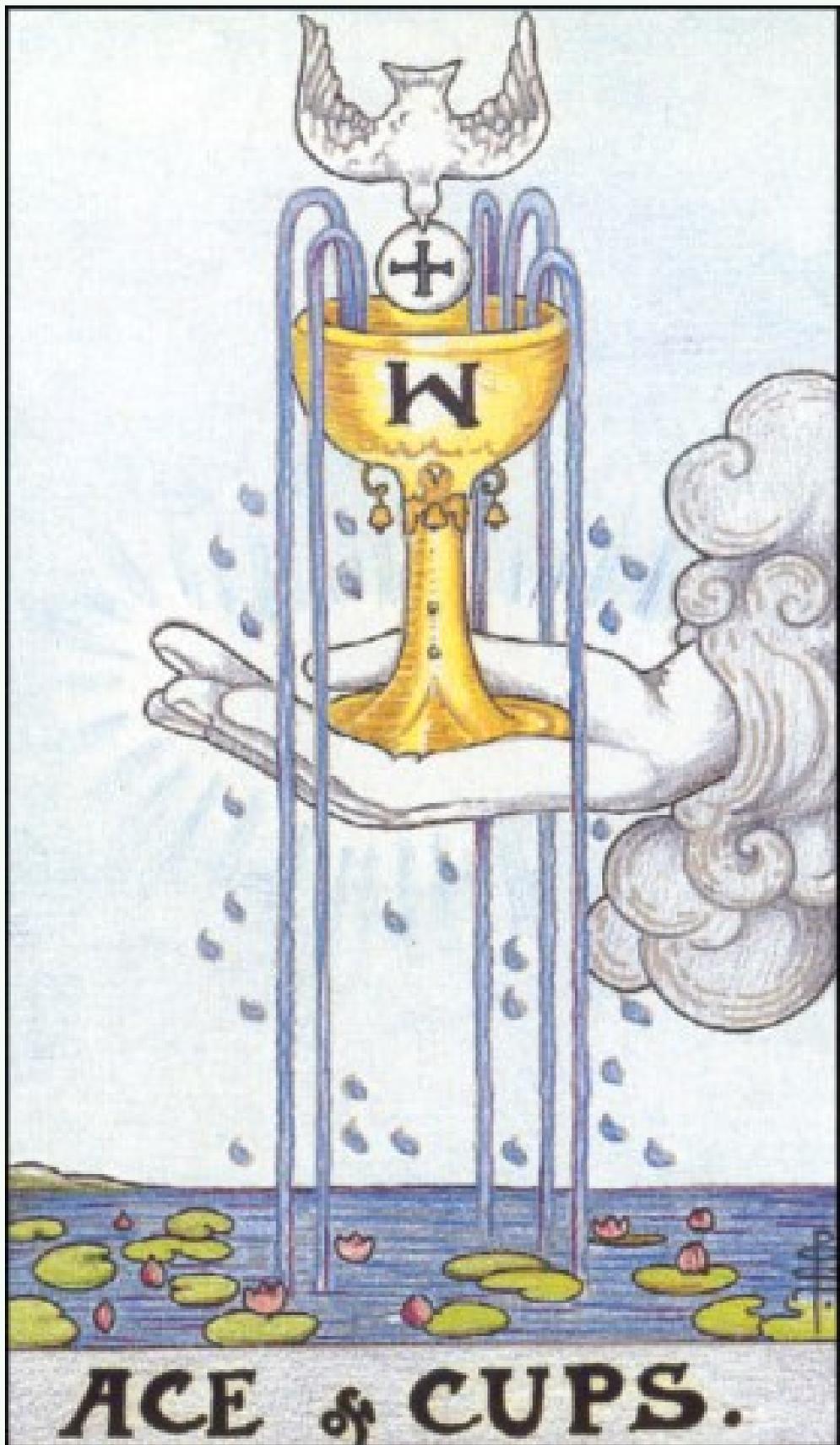
いいんですよ。結婚式を挙げるのも自由。でも、どうせ離婚をするのなら、決して「一生の愛」とか「永遠の愛」なんてものを誓ってはなり

ません。誓うのなら「たぶん三、四年で離婚しますが」という条件付きの愛の誓いにとどめておくべきでしょう。そうすれば離婚するときに罪悪感で悩むこともなくなります。神様も「それなら仕方がない」と許してくれるでしょう。

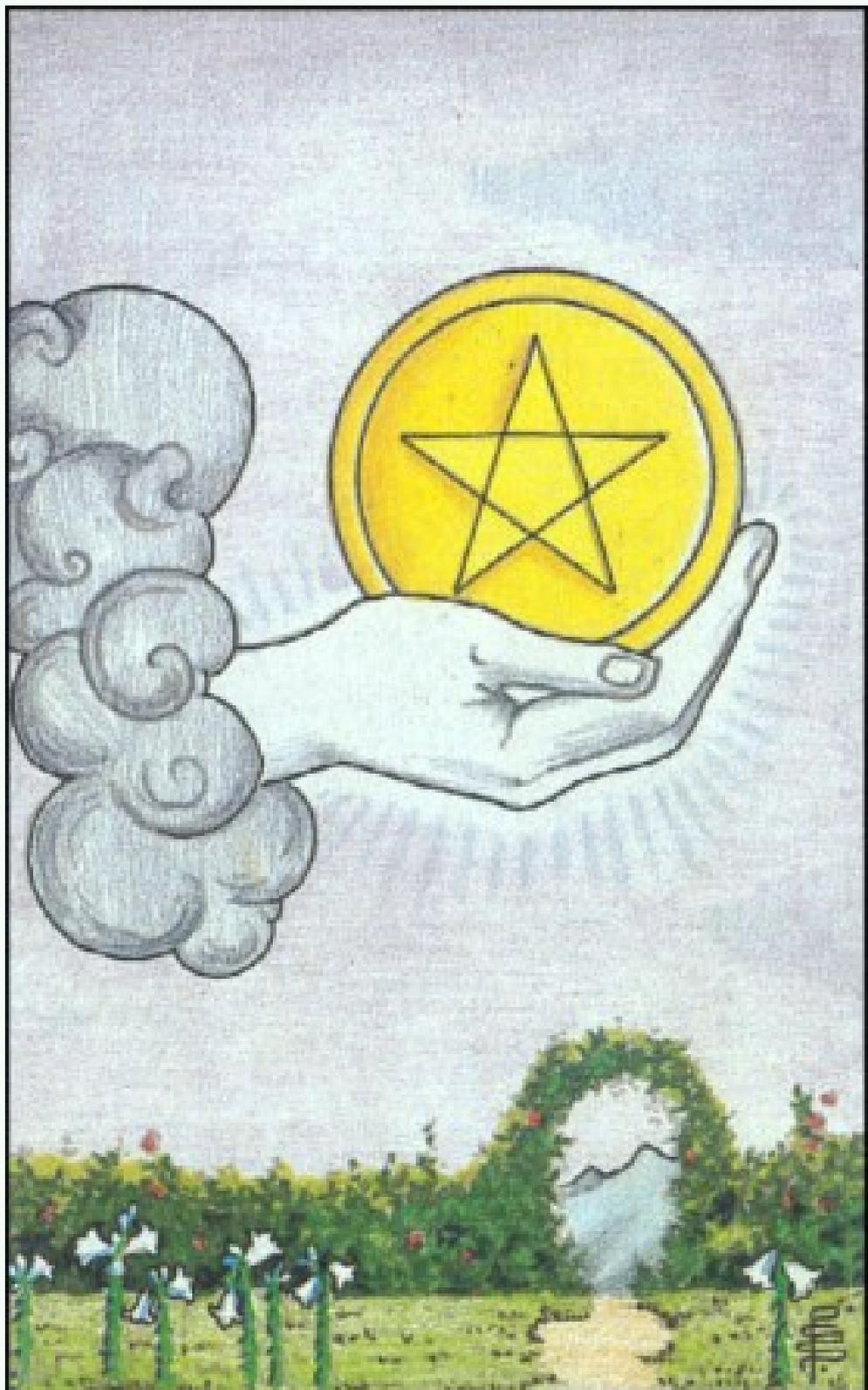
実は、人間ってのは本能的に三、四年程度しか恋愛感情が持続しない生き物なのだそうです。だから、付き合っただけで結婚したような夫婦の場合

は三、四年経つと気持ちが冷めて離婚したくなる  
のです。

気持ち冷めたから離婚してしまうというの  
は、お互いに愛し合っていたわけではないという  
ことですね。恋愛という「**感情**（CUPS）」に振り  
回されていただけにすぎません。



愛とは感情ではありません。表現の仕方は無数にありますが、あえて感情と対になる言葉で定義するならば、それは「**感覚** (Pentacles)」です。相手の存在がそこに「在る」と認めることです。その相手を「生かす」こと。それが愛です。愛は三、四年でなくなることはありません。相手が存在し続ける限り、愛もまた永遠にそこに在り続けます。感覚が麻痺して感じ取れなくなっていたと



**ACE of PENTACLES.**

しても、それは常にそこに在るのです。

愛するとは、その愛を感じ取ることです。それは「本能 (Wands)」とは無関係です。人間の

「**理性** (Swords)」がもたらすものと言ってもよいでしょう。たとえ忘れかけていても、意識すればいつでも思い出すことができます。永遠の愛を誓うというのは、そういう気持ちを意識的に持ち続けるといふことです。一時的な恋愛感情が覚め

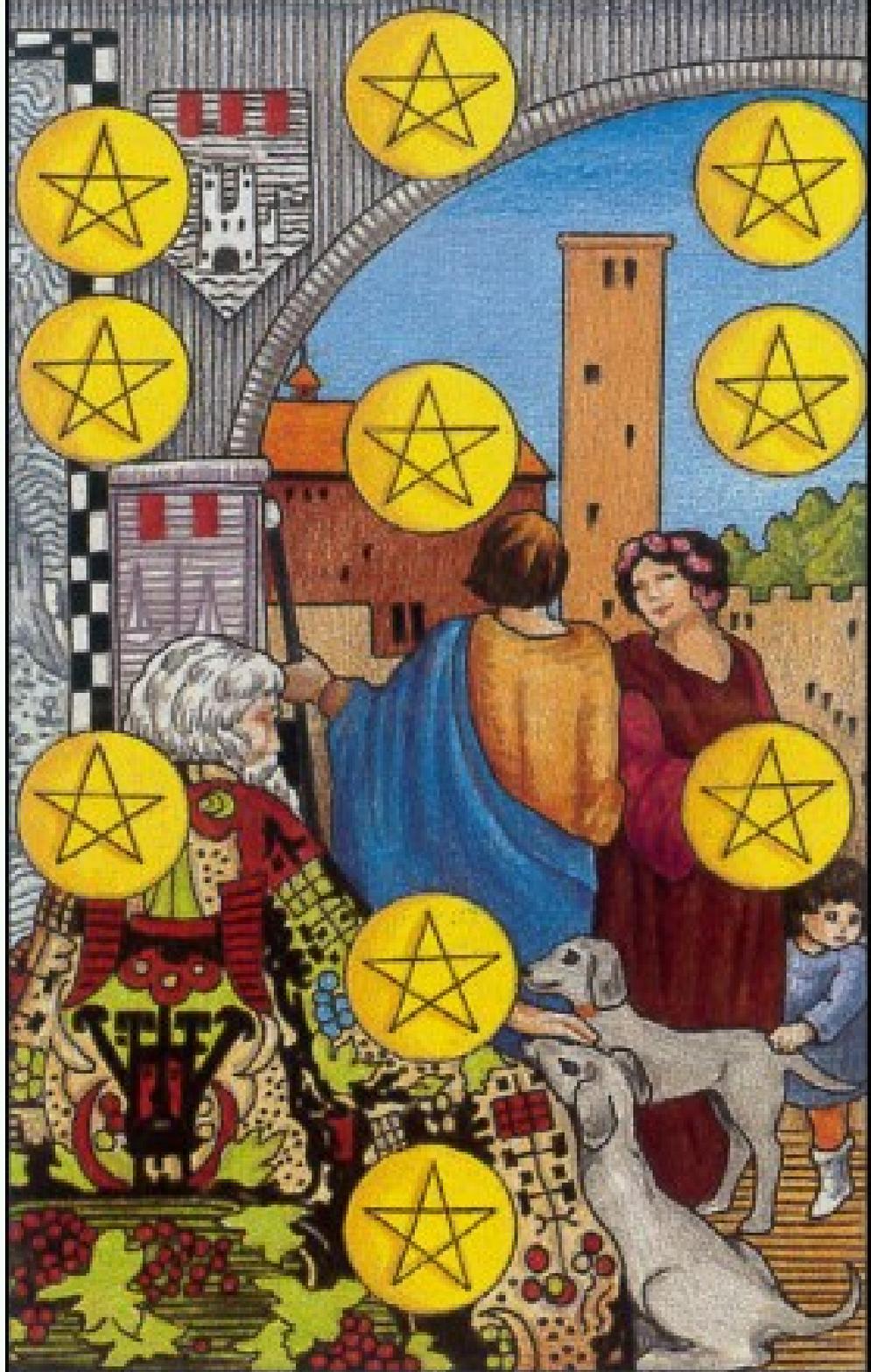
たととしても、愛し続けることはできるのです。

しかし、人はそれを勘違いして、恋愛感情が覚めたら「愛もなくなっただ」と考えてしまうのでしよう。もうその時点で離婚せずにはいられなくなってしまうのではないでしようか。

人間はとかく本能に身を任せ、理性を見失いがちです。人は古来からそのような**怠惰な本質**を理解していたからこそ、結婚式を挙げ、神の前で愛を誓わせ、簡単には離婚できないようにしたのではないでしょうか。そうしなければ人々は感情のままに結婚と離婚を繰り返し、社会の秩序を保つことができなくなってしまうでしょう。

X

10



男と女は結婚し夫婦となり、子を産み、家族を作ります。そこに社会の基盤ができ、国家へと成長してゆく。平和な国づくりのためには家族という最小単位の社会をまず何より強固にしなければなりません。結婚式はそのために絶対に必要な儀式だったのです。



**THE HIEROPHANT**

崇拜する神が存在することは、国を強くすることでもあったわけです。日本古来の神道の本質もそこにあつたはずです。

しかし、現代の日本では（いや欧米でも同様かもしれませんが）何が起きているのか？

個人主義的な価値観が尊重され、夫婦は家族である以前に一人の人間であるという意識が高まってきています。家族（他人）の幸せよりも自分の



**THE MAGICIAN.**

幸せが優先されるようになってきたのです。

そして、神や宗教といった意識もどんどん薄れてきています。神に対する誓いなどには意味はなく、単なる形式でしかなくなってしまうています。そのことに罪悪すら感じません。

でも華やかな結婚式には憧れる。結婚式を挙げたいという、ただそれだけのための結婚にすらなってしまうている。結婚式という夢を叶えてし

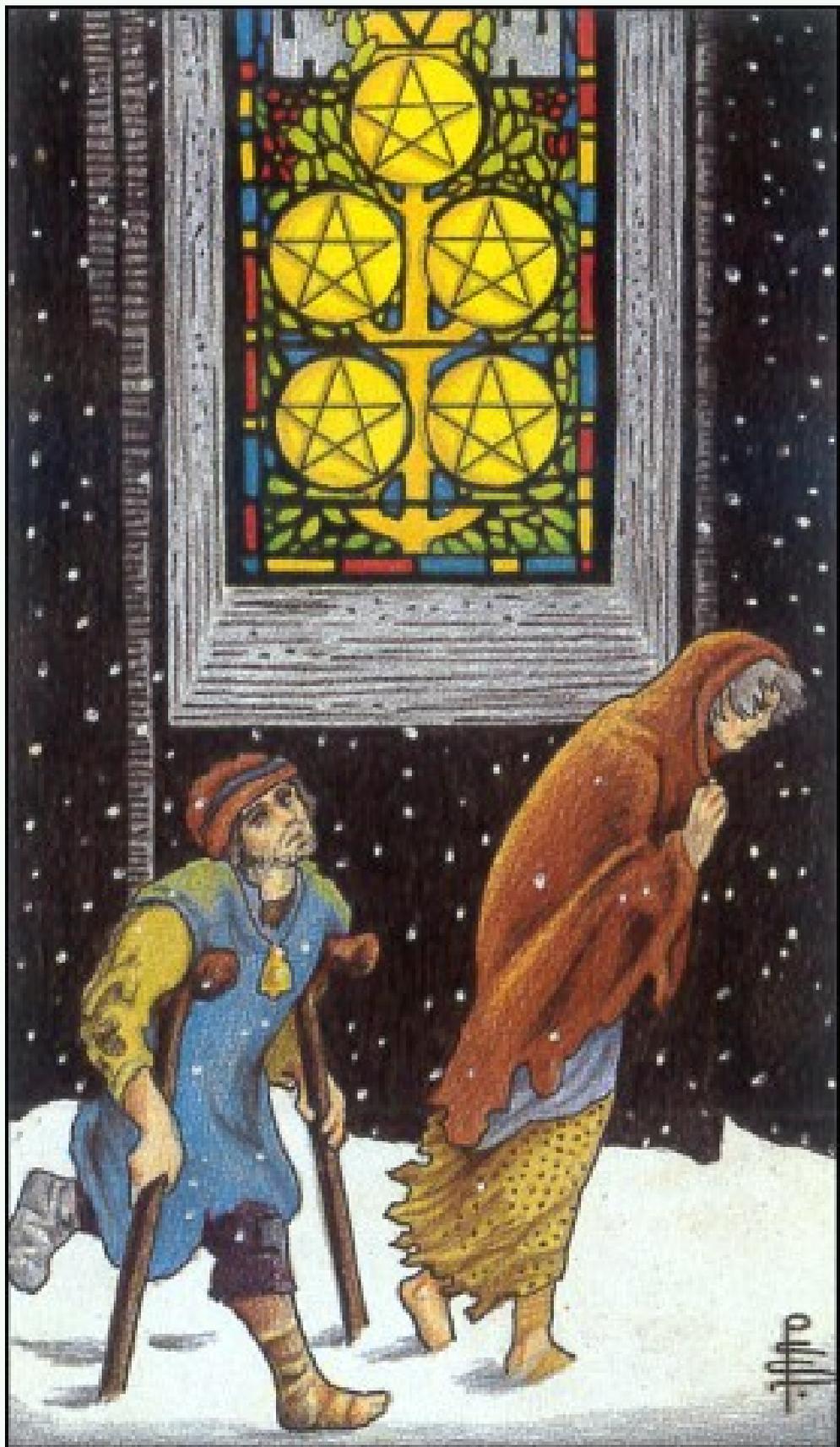
VIII



1887

まったら、その後のことなど考えていないので愛を育む努力などせず、気持ちが悪ければ離婚するだけ。

家族という国を支える基盤が崩壊してしまったら、その国は弱まり、やがては滅びることになるでしょう。



つまり、この国は今、滅びに向かっているという  
ことです。人が受けなければならぬ罰という  
のはそういうことなのかもしれません。

それでもよければ、離婚なさい。

離婚することは、悪いことではありませんか  
ら。

愛することを忘れた国など滅んで当然です。

二〇一五年四月八日

21時39分

タロット占い師

アポロ